

製品名		エポタフエース		【主剤】	
火気厳禁				【注意喚起語】	
非水溶性液体 指定可燃物				警告	

製造者	株式会社日米商会		
担当部署	製造部		
所在地	東京都大田区東六郷3-9-12		
連絡先	【TEL】 03-3738-4410	【FAX】 03-3738-4478	【E-mail】 info@e-nichibei.com
緊急連絡先	【TEL】 03-3738-4410		

【危険有害性の要約】	
分類の名称	その他の有害性物質。
有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分2(目や皮膚を刺激する場合がある。) 皮膚感受性 区分1 環境に対する有害性：水生環境有害性物質・慢性 区分2
環境影響	海洋を汚染する。
物理的・化学的危険性	情報なし
想定される非常事態の概要	眼や皮膚を刺激する場合がある。 水中の環境に対して長期にわたり悪影響を及ぼす恐れがあるため製品および濃厚排水は河川等の公共水路に流水してはならない。

【ラベル要素】	
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。長期的影響により水生生物に毒性。
消防法	指定可燃物 可燃性液体類 火気厳禁
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「施工の手引き」をよく読み本製品の取り扱いについて作業者を事前に教育する。</li> <li>■作業場の換気を十分行い、作業者は保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</li> <li>■取り扱い場所は禁煙とし、裸火 高温の発熱体の使用は禁止する。</li> <li>■粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。</li> <li>■屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。</li> </ul>
廃棄	■内容物・容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

【応急措置】	
吸入した場合	負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
皮膚に付着した場合	皮膚または髪に付着した時は多量の水と石鹸で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除くこと。 皮膚刺激が生じた時は、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類は直ちに脱ぎ、廃棄すること。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で5分以上洗い流す。眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。眼球を傷つける場合があるのでこすらない。容易に取り外せる場合はコンタクトレンズははずす。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、口をすすぎ、医師の診断／手当てを受けること
応急措置者の保護	気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

【火災時の措置】	
消火剤	泡、噴霧水、乾燥砂。
使ってはならない消火剤	
特定の消火方法	周辺火災の場合：移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。着火した場合：火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。
火災時の特定危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので消火作業の際には煙の吸入を避ける。
消火を行う者の保護	火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

<b>【漏出時の措置】</b>		関係法規に準拠して作業する。
人体に対する注意事項	作業者は保護具を着用し、風上で作業する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気をおこなう。	
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。	
除去方法	少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後残りをウエス・雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合は盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム缶等に回収する。	
廃棄	回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。	
二次災害防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 消火剤を準備する。 床に放置すると滑りやすく、スリップ事故の原因となるので注意する。 漏出物の上をむやみと歩かない。 火花の出ない安全な用具を使用する。	

<b>【取扱い及び保管上の注意】</b>	
技術的対策	静電気放電に対する予防措置を講ずる。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。眼／顔面用の保護具を着用する。適切な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
注意事項	火気厳禁。
安全取扱い注意事項	知見なし
適切な保管条件	法規に従った施設に保管する。熱から離して保管する。着火源から離して保管するー禁煙。容器を密閉して保管する。

<b>【暴露防止及び保護措置】</b>		
設備対策	密閉された装置、機器または局所排気装置を使用して取扱う。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。	
管理濃度	情報なし	
許容濃度	情報なし	
保護具	呼吸器用の保護具	本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
	手の保護具	耐油性の保護手袋
	目の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)
	皮膚及び身体の保護具	帯電防止性能を有する長袖作業衣、ゴム長靴
適切な衛生対策	作業者に保護具の適正な装着方法等について教育訓練を行う。 保護具が共有の場合は使用後の洗浄の徹底等、衛生的に管理する。	

<b>【物理的及び化学的性質】</b>	
形状	液状
色	色相により各色
臭い	わずかな特異臭
PH	情報なし
沸点	データなし
融点	データなし
引火点	250℃以上。(クリーブランド開放式)
発火点	データなし
爆発特性	データなし
溶解性	水に対する溶解性:溶けない。 トルエン・キシレン等の有機溶媒に対する溶解性:よく溶ける。

<b>【安定性及び反応性】</b>	
安定性	常温・常圧で安定。
反応性	自己反応性なし。 水との反応性もないが、重合開始触媒、強酸、強アルカリ、酸化剤、エポキシ樹脂硬化剤(アミン類等)との混合により、激しく発熱反応する事がある。
避けるべき条件	過剰な加熱、火花、裸火。
避けるべき材料	重合開始触媒、強酸、強アルカリ、酸化剤、エポキシ樹脂硬化剤(アミン類等)との混合により、激しく発熱反応する事がある。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、低分子有機化合物(構造不明)。

<b>【有害性情報】</b>	
急性毒性	情報なし。
皮膚刺激性	情報なし。
眼刺激性	情報なし。
感作性	情報なし。
変異原性	情報なし。

<b>【環境影響情報】</b>	
生体蓄積性	情報なし。
残留性／分解性	情報なし。

<b>【廃棄上の注意】</b> この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。	
残余廃棄物	この製品は排水溝中に空けてはならない。
内部処理の場合	法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。 焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。
外部委託処理の場合	産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。

<b>【輸送上の注意】</b> 消防法の基準に従い積載・運送を行う。				
国際規制	情報なし			
国連分類	なし			
国連番号	なし			
品名(国連輸送名)	なし			
容器等級	なし			
容器表示	品名	化学物質名	数量	指定可燃物
		非水溶性液体		
積載方法	運搬時の積み重ね高さ3m以下。			
混載禁止	消防法危険物 第一類、第六類および高压ガス。			
特定の安全対策及び条件	保護具、消火器を携帯する。必要であれば、イエローカードを携帯する。 容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。			

<b>【適用法令】</b>	
消防法	指定可燃物 可燃性液体類(法第9条の4、危険物規制令別表第4)
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5、労働基準局長通達) メチレンビスフェノール型エポキシ樹脂中間体 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき有害物 該当しない
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号) ビスフェノールF型エポキシ樹脂 感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号) ビスフェノールF型エポキシ樹脂
船舶安全法	有害性物質(危規則第3条危険物告知別表第1)
航空法	その他の有害物質(施工規則第194条危険物告示別表第1)
大気汚染防止法	該当しない
化学物質把握管理促進法	該当しない
化審法	該当しない

<b>【組成・成分情報】</b> 単一化学物質・混合物の区別 : 混合物				
化学名称または一般名	含有率	官報公示整理番号	CAS No.	国連分類・国連番号
BPFエポキシ樹脂	50~60%	(7)-1285	9003-36-5	3082
フィラー	35~45%			
添加剤	3%未満			
顔料各種(色相による)	10%以下			

この情報は新しい知見及び試験等により改訂されることがあります。  
本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。  
すべての化学品には未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。  
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

作成日:2010/9/1

改定:2024/1/26